

年 組 名前:

問1

みのぶちゅう しんこうしゃ かんせい  
身延中の新校舎が完成しました。

こうしゃ もくざい  
校舎には、どのような木材が

つか  
使われていますか。

.....  
.....

問2

みのぶちゅう ちやうない ちゅうがっこう どうごう  
身延中は町内4中学校が統合して

ねん がつ かいこう  
2016年4月に開校しました。

きゅうちゅうがっこう よ かた こた  
旧中学校の読み方を教えてください。

- ・久那土 : .....
- ・下 部 : .....
- ・中 富 : .....
- ・身 延 : みのぶ .....

問3

あたらし みのぶちゅう ちやうない いてん  
新しい身延中は、町内のどこからどこへ、何キロ移転しましたか。

.....



# 身延中の新校舎竣工

## 町産木材や西嶋和紙活用

身延町が同町下山に建設を進めていた身延中の新校舎が完成し、22日、竣工式が行われた。新年度から生徒が利用する。

新校舎は下山小の南側に建設した。木造一部鉄筋コンクリート造り2階建てで、体育館と部室棟などを含めた延べ床面積は約6000平方メートル。



建設工事費は約26億5千万円。校舎には樹齢100年とされる身延山のスギなど県産と町産の木材を使用。エントランスの大階段の手すりには西嶋和紙を挟み込んだすりガラスを添えている。教室は各学年2クラス分ある。体育館は災害時の利用も想定し、置き床、シート張りの方式を採用。町出身の画家藤田由也氏の原画を基にシタレザクラなどを綴帳に描いた。テニスコー

ト3面には人工芝を敷設した。グラウンドは隣接する下山小と共同で使用する。竣工式には、工事関係者や学校関係者ら約150人が出席。望月幹也町長があいさつした後、テープカットをして完成を祝い、内覧会も開いた。

身延中は町内4中学校が統合して16年4月に開校。1970年に建設された同町梅平の校舎は老朽化が進み、統合により通学距離が延びた生徒もいることから、直線で約4・5キロ北の町中部の下山地区への移転を決め、2021年7月に着工した。

〈深沢澤〉

(2024年3月23日付 山梨日日新聞 16面)